

企業倫理と儒教倫理 プロで総括報告会開く

3月23日、桜美林大学
北東アジア総合研究所は第17
回「企業倫理と儒教倫理」プロ
シエクト」に関する総括報告



3年間の総括報告会

「ホレイトガバナ
ンス」に対し、儒
教倫理がどのよう
な影響を与えてい
るのか、また将来
どのような影響を
与えようのかを研
究報告と題しての経済

会を開いた。座長である吉澤
堂相教授である吉澤明氏の挨拶の後、2006年7月より
約3年間に渡り続いている
「北東アジアにおける企業活動
と儒教倫理の相関関係」プロシ
エクト」の研究結果、活動報
告について総括するとともに、
調査研究の継続、得られた成
果の発刊に向けた意見交換が
行われたもので、「真新の発刊
など今後の活動予定について
話し合いが行われた。

「北東アジアにおける企業
活動と儒教倫理の相関関係」
プロジェクトは、日中双方で
適応化する企業活動の中で
「倫理観」の重要性について、
その可能性を探求すべくスタ
ートした。

近年、中国の目覚ましい経済
発展に伴い、日本企業による
中国進出をはじめ、改めて日
中双方の企業間でビジネスを
通じた交流が拡大している。

同プロジェクトでは、北東
アジア地域の代表的企業にお
ける企業倫理、企業統治、二
次再編などが、

人を変えて幅広い切り口から
探究し、儒教倫理を媒介とし
て同地域における企業倫理の
共通項を積極的に見出すべく
定期的に会合を開いてきた。

報告会では同プロジェクト
におけるこれまでの活動経緯、
そして今後の方針などが紹介
されたもので、引き続き、現
地調査をはじめとする研究の
深化を進める一方、過去3年
間、17回に及ぶ会合で得られ
た成果の記念出版についても
話し合いが行われた。企画で
はさまざまなスタイルが検討
されたものの、同プロジェクト
での講演録を母体とし、儒
教思想、東洋思想のアジア的
なエッセンスと経営理念が盛
り込まれた「生きた経営の提
唱」を行うことを目的に、今
夏にも記念出版であるよう事
業を進めるとされた。

報告会は最後にアジア平和
貢献センター理事長である西
原英夫氏が総括、さらなるプ
ロシエクトに向けた取り組み
を再確認された。

報告会では最後にアジア平和
貢献センター理事長である西
原英夫氏が総括、さらなるプ
ロシエクトに向けた取り組み
を再確認された。

報告会では最後にアジア平和
貢献センター理事長である西
原英夫氏が総括、さらなるプ
ロシエクトに向けた取り組み
を再確認された。

報告会では最後にアジア平和
貢献センター理事長である西
原英夫氏が総括、さらなるプ
ロシエクトに向けた取り組み
を再確認された。